

# 発展を続ける商業

## 年間2兆7,000億円の商品販売額

熊本県の商業は、産業活動の活発化や所得水準の上昇にともなう個人消費の拡大を背景に、県経済の発展に大きな役割を果たしながら成長を続けてきています。

年間商品販売額をみると、40年代後半から著しい伸びを示し、昭和54年は、卸、小売業あわせて約2兆7,000億円に達し、45年の約4倍となり、この間の実質伸び率は県経済の伸びを大きく上回っています。また、昭和55年の就業者数でも、卸、小売、サービス業で県全体の就業者数の約4割を占めており、県内雇用吸収の大きな柱となっています。

近年、しだいに商店規模の拡大がみられるものの、なお依然として、中小の規模が多く、また、1店当たりの商品販売額も全国水準に比較してかなり低い水準にあ

るなかで、熊本県の商業を取りまく環境は、大型店の進出あるいは消費者需要の多様化など著しく変化してきています。このような状況に対応して、経営の近代化による企業体質の改善・強化や共同化、協業化などの促進をはかるなど商業の近代化、高度化を今後ともなおいっそう促進していく必要があります。



# 県財政のあらまし

